

授業科目名 (英訳)	グローバル技術戦略論 Theory of Global Technology Strategy					担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 教授・櫻井 繁樹				
配当学年	1 回生	単位数	2	開講年度 開 講 期	H27 後期	曜時限	金/1	授業形態	講義	使用言語	英語
<b>〔授業の概要・目的〕</b>											
<p>エネルギー・環境問題、少子高齢化など我が国のみならず世界を取巻く喫緊の課題に対し、我が国の科学技術力が大きな期待を集めており、そのポテンシャルをイノベーション創出へと集中することが不可欠である。本科目では、イノベーション創出主体である企業を中心に、国際展開に向けた技術経営の基礎、関連政策の動向等を学ぶとともに、グローバルな観点から必要とされる技術分野の動向や知的財産戦略、国際標準戦略についても、受講者間の討論を交えながら、学習する。</p>											
<b>〔到達目標〕</b>											
<p>これまで以上に必要とされる日本の「技術力」について、グローバルな視点で、現状におけるその強みと弱みを体系的に把握する能力を身につけるとともに、日本のものづくり国際競争力の戦略的な再構築に向けた実践的知識を獲得する。</p>											
<b>〔授業計画と内容〕</b>											
<p>【第1～2回】 “ものづくり” 総論： 日本の“ものづくり”の歴史や、製造業を中心に基盤技術発展の過程を総合的に把握するとともに、日本を取巻くエネルギー・環境問題、少子高齢化問題など、“ものづくり”の観点から日本の現状と課題を学ぶ。</p> <p>【第3～4回】 ものづくりプロセス概要： ものづくりにおけるサプライチェーンやバリューチェーン、また知的財産、国際標準化などについて、グローバルビジネスの観点から学習する。</p> <p>【第5～6回】 ものづくりプロセス①（原料調達など）： 日本におけるグローバルベースの資源調達や、今後の拡充強化に向けた戦略論について考察する。</p> <p>【第7～8回】 ものづくりプロセス②（基礎素材製造など）： 化学系基礎素材、鉄鋼、銅、アルミ等金属系素材などを中心に、高品質かつコスト競争力を持たせるための観点から学習する。</p> <p>【第9～10回】 ものづくりプロセス③（製品製造など）： 国内外を問わない製造拠点、製造技術移転などの観点から、我が国メーカーが抱える問題点を中心に課題解決法について検討する。</p> <p>【第11～12回】 ものづくりプロセス④（マーケティング、リサイクルなど）： マーケティング、リサイクル、環境配慮、TPP 対応等を含めた、国際競争力のあるグローバルバリューチェーン構築に向けた方法論を展開する。</p> <p>【第13～14回】 ものづくりとイノベーション： グリーン・イノベーション、ライフ・イノベーションなど、ものづくりを中心とした実践的なイノベーション・マネジメントを学習する。</p> <p>【第15回】 学習到達度の確認</p>											
<b>〔履修要件〕</b>											
特になし											
<b>〔成績評価の方法・観点及び達成度〕</b>											
授業に参加しての貢献度の状況及び適宜提出させるレポートをベースに上記目標に係る達成度を総合的に判断する。											
<b>〔教科書〕</b>											
最初の授業で指示する。											
<b>〔参考書等〕</b>											
最初の授業で指示する。											

[授業外学習（予習・復習）等]

各回の授業前に議論テーマ等を提示する。

[その他（オフィスアワー等）]

必要に応じて、外部講師による話題提供、学外実習等を含めて実施する。

連絡先： sakurai.shigeki.2c@kyoto-u.ac.jp